

会議結果報告書

1 会議名	平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（海岸地区）
2 日時	平成 30 年 5 月 24 日（木）10：00～11：30
3 場所	海岸地区コミュニティセンター 大ホール
4 出席者	<p>（資源循環課）森岡副主査、水本主事</p> <p>（環境事業センター）小俣担当課長、鈴木主事、田中技能労務統括主査、小川技能労務統括主査、石井技能労務統括主査</p> <p>（海岸地区）参加人数：16 人</p>
5 内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●大和市と藤沢市は有料化と戸別収集を同時並行でやっているようだが、本日の説明では茅ヶ崎市は有料化と戸別収集を 2 つに分けて検討しているように思える。別々で検討すると、有料化に対しても市民が負担し、戸別収集するにもさらに市民の負担が増えるのではないか。</p> <p>→現在、有料化と戸別収集をあわせた検討を行っている。現段階では、同時に導入するという結論にも至っておらず、有料化だけ導入するという可能性もある。ただ、戸別収集は実施すると経費がかかり、戸別収集を導入することで赤字になるのでは市が抱える課題が解決しないので、環境事業センターで綿密に試算を行った上で検討していく。</p> <p>●不法投棄されたごみは、有料化実施後はどう処理されるのか。また、環境指導員の役割はどうなるのか。</p> <p>→毎日不法投棄のパトロールを行っている。土日は、業者に委託して不法投棄パトロールを行っているが、有料化している他市の不法投棄の情報を収集し、対策を強化していなければならないと考えている。有料化導入後も、環境指導員の皆様にご協力をお願いしたいと考えている。</p> <p>→鎌倉市では戸別収集は行わず、指定の袋を使って集積場所に排出するといった有料化のみを導入している。導入当初は、指定の袋ではない袋を使用して排出される事例があった。基本的には、指定の袋で排出されたものしか収集しないが、そのまま置いておくのは衛生上問題があるので、最終的には市が回収していたことを聞いている。茅ヶ崎でも、有料化を導入した後の課題として対応していきたいと考えている。</p> <p>●参考資料別紙 3 の導入のメリットで、先行の 4 市について、導入前と導入後、収集量が減った資料がある。各家庭の努力の結果だと思うが、それについての分析は各市にヒヤリングしているか。</p> <p>→先行市にヒヤリングした結果、なるべくお金がかからないようにという意識から分別が進み、また、袋のサイズが分かれているので、小さい袋にたくさんつめて排出す</p>

るなど、各家庭の努力の積み上げが総量に反映していると聞いている。

●県内 17 市で 4 市だけが有料化しているのか。

→そのとおりである

●その外、県内横浜市や川崎市ではどのようにすすめているのか。

→全ての自治体について調べているが、横浜市や川崎市についても、有料化自体は昔から検討していると聞いている。現在導入につながっているのが県内 4 市である。

●参考資料別紙 3 の先行市の収支状況について、大和市で見ると 1/3 が経費で取られているが、その点はどのように考えているか。

→流通経費、販売手数料を加味すると、同程度の経費がかかると見込んでいる。

●茅ヶ崎が有料化してもこのぐらいはかかると考えてよいのか。

→袋の単価が安いということもあるが、大和市の人口規模は茅ヶ崎と同程度なので、おおよそこのぐらいの経費はかかると考えている。

●戸別のメリット・デメリットについて、デメリットについて資料にはあまり載っていないが、ほかにはないか。

→戸別収集は、作業員の負担が大きい。現在は、燃やせるごみ、燃やせないごみは 8 世帯で 1 箇所だが、戸別収集となると 1 軒 1 軒収集に行くことになる。また、茅ヶ崎はパッカー車が通れないような道幅は徒歩で収集することになるため、収集作業員の負担が増えるといえる。

●人員はどのくらい増えると考えているか。

→現在検討段階だが、10 台パッカー車を増車する仮定すると、2 人乗車で収集しているので 20 名増えることになる。現在、市内全域で、戸別で収集するとどれだけの車輛が必要なのか、環境事業センターの職員が歩いて調査している。結果が出次第、お示ししたいと考えている。

●燃やせるごみが減るのは良いが、人件費が増えるのはどうなのか。

→戸別収集には経費がかかるので、有料化と戸別収集の両方を導入しても課題解決につながらなければ意味がないと考えている。われわれの業務において、費用削減を行いつつ、それを戸別収集に充てるような検討もしている。

●資源物も戸別収集の対象ですか。

→対象はまだ決めていない。藤沢市では、燃やせるごみ・燃やせないごみから戸別収集を開始し、現在ではステーションは古紙のみが残っている状況である。戸別収集を

どれからやるか、どこまでやるかは費用の面も含め検討している状況である。

●藤沢市では、戸別収集は何人ぐらいで収集しているのか。

→藤沢市の中でも、北部は直営、南部は委託業者が収集を行っている。直営の職員数については、茅ヶ崎市と同程度である。

●有料化戸別の検討スケジュールをみると、平成31年度に方針決定、それまでに市民との意見交換とあるが、市民はどこまでを対象としているか。

→市民とは、事業者も含めて、茅ヶ崎市にいらっしゃる方全てを対象としている。

自治会向け意見交換会については、6月から9月にかけて実施させていただく予定である。10月以降については、自治会以外の方との意見交換会を予定している。

●ダンボールの過剰包装やチラシについて。ごみの処理に係わる費用を負担させるべきではないか。市民に対する負担ばかりでなく、事業者についても負担させたらどうか。

→メーカーの過剰包装を何とかしてもらいたいという声も聞いている。市として、事業者に対してどのようなことが出来るかを検討していきたいと思う。

●「紙の分別チラシ」を全戸配布してもらえないか。

→予算の関係で全世帯分の枚数を作成していないが、今後、環境学習会や自治会意見交換会などで、皆様の手にわたるようにしていきたい。また、市のホームページにも早急に掲載したいと考えている。

以上